

令和6年12月6日

関係各位

アリスタ ライフサイエンス株式会社
営業本部

**「トクチオン®乳剤」〔にら、鱗茎類(葉物)〕および
「トクチオン®細粒剤 F」〔にら、にら(花茎)〕の農薬登録縮小申請のお知らせ**

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、弊社 殺虫剤「トクチオン®乳剤（登録番号：第13426号）」および「トクチオン®細粒剤 F（登録番号：第18130号）」におきまして、2024年9月18日付の適用拡大登録内容〔「にら」「鱗茎類（葉物）」「にら（花茎）」の追加〕を縮小申請いたしましたので、別紙のとおりお知らせ申し上げます。

なお、9月18日付の登録内容でご使用された場合、栽培体系によっては残留基準値超過の懸念があることから、現行の登録内容ではなく、縮小後の適用内容（2024年9月18日以前の適用内容と同じ使用方法）にてご使用くださるよう、ご使用者様 および お取扱各位へのご周知、ご指導にご協力を賜りたく、何卒宜しく願い申し上げます。

敬具

アリスタライフサイエンス株式会社

〒103-0027 東京都中央区日本橋一丁目4番1号 日本橋一丁目三井ビルディング 19階

HP URL: <http://www.arystallifescience.jp/>

トクチオン乳剤（登録番号：第 13426 号）

別紙 1

登録縮小後の適用内容にて、「トクチオン®乳剤」をご使用くださいますよう、お願い申し上げます。

【2024 年 9 月 18 日以降 - 現行の適用害虫と使用方法】

※今回変更内容のみ抜粋

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	プロチオホスを含む農薬の総使用回数
鱗茎類 (葉物、ただし、ねぎ、にら、にら(花茎)を除く)	アザミウマ類	1000 倍	100~300L/10a	収穫 7 日前まで	3 回以内	散布	3 回以内
	ネダニ類	2000 倍	3L/m ²			株元灌注	
にら にら(花茎)	アザミウマ類	1000 倍	100~300L/10a			散布	3 回以内 (土壌混和は 1 回以内)
	ネダニ類	2000 倍	3L/m ²			株元灌注	

使用上の注意事項： ● 株元灌注する場合は、希釈液が直接茎葉にかからないように注意すること。



【登録縮小後の適用害虫と使用方法】

鱗茎類(葉物、ただし、ねぎ、にらを除く)、にら(花茎)にはご使用になれません。

※今回変更内容のみ抜粋

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	プロチオホスを含む農薬の総使用回数
にら	ネダニ類	2000 倍	3L/m ²	収穫 21 日前まで	1 回	株元灌注	2 回以内 (土壌混和は 1 回以内、株元灌注は 1 回以内)

使用上の注意事項：

- にらに使用する場合は、前作のにらを地際から刈り取りした後、できるだけ速やかに株元灌注し、希釈液が直接茎葉にかからないよう注意すること。

アリスタライフサイエンス株式会社

〒103-0027 東京都中央区日本橋一丁目 4 番 1 号 日本橋一丁目三井ビルディング 19 階

HP URL: <http://www.arystalifescience.jp/>

トクチオン細粒剤 F (登録番号: 第 18130 号)

別紙 2

登録縮小後の適用内容にて、「トクチオン®細粒剤 F」をご使用くださいますよう、お願い申し上げます。

【2024 年 9 月 18 日以降 - 現行の適用害虫と使用方法】

※今回変更内容のみ抜粋

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	プロチオホスを含む農薬の総使用回数
にら	ネダニ類	6~9kg/10a	定植時	1 回	全面土壌混和 又は 植溝土壌混和	3 回以内 (土壌混和は 1 回以内)
にら(花茎)						



【登録縮小後の適用害虫と使用方法】

※今回変更内容のみ抜粋

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	プロチオホスを含む農薬の総使用回数
にら	ネダニ類	6~9kg/10a	定植時	1 回	全面土壌混和 又は 植溝土壌混和	2 回以内 (土壌混和は 1 回以内、 株元灌注は 1 回以内)
にら(花茎)						1 回

以上

【お問い合わせ先】 アリスタ ライフサイエンス株式会社 営業本部 (☎ 03-5203-9350)
マーケティング本部 (☎ 03-5203-9310)

アリスタライフサイエンス株式会社

〒103-0027 東京都中央区日本橋一丁目 4 番 1 号 日本橋一丁目三井ビルディング 19 階

HP URL: <http://www.arystalifescience.jp/>